



〒263-0043

千葉県稲毛区小仲台6-19-19 Myビル

Tel.(043)287-2624

Fax.(043)287-2610

MARIYA

ホームページ <http://mariyaclinic.com/>メール info@mariyaclinic.com

素敵な美人・美男子に会ってドギマギする、なんてことはありませんか。面白いことに美人ほど、自分の容姿を気にするようです。「クレオパトラの鼻がもう少し低かったら歴史が変わっていた。」とパスカルは言いましたが、あなたの人生は、もう少し美人だったら変わっていたと思っただけでしょうか。むろん、あなたは十分美しいのでしようが、人間は欲深なものですから心配して当然です。

日本社会ほど完璧を要求する国はないと思います。そういう中で精神・身体の障害者は人の助けを受けなければならぬものとして差別されていることは事実です。さらに精神疾患や発達障害を医療機関は簡単に診断するのに、その症状を呈したら、もはや治らない病気として継続的な治療を要するとします。

自閉症と診断されたF君は、今は全く普通の少年として暮らしています。マリヤ・クリニックに来たら治るのにと伝えても、これは治らない障害だからと諦めている親ばかりでがっかりするとおぼあちゃんやんが語っていました。治ろうとして徒労に終わる悲しみを恐れる気持ちにはわかります。

私たちは、治るか治らないか、検査をします。その検査は有機酸検査、脳アレルギー(IgG)検査、有害ミネラルの検査などです。日本ではできないのでアメリカに出します。アメリカの人々は、どうにかして治そうと努力する様子が患者にも医療機関にも薬品会社やサプリメント会社にも見られます。さらに、障害を持つている人でも、いろいろなことをしています。ボブ・ウイランドは足がないのに、アメリカ大陸を横断しました。「ソウル・サーファー」という映画は、サメに左腕を食べられた13歳の女の子が再びサーフィンを始めた話です。

治らなくても人間としての価値は変わりません。でも治そうとする権利を奪ってはならないと思います。ビル・ゲイツやステイブ・ジョブズがアスペルガー症候群であることは有名です。自閉症の人が、かえって特異的な才能をもっていることは知られています。各人が短所と長所を持っており、障害と固有な才能を持っています。金持ちもそうでない人もいますが、同じように幸せになる権利を持っています。私の妻は不器用な人で、おつちよこちよいで、私がいないと生きていけないと本人が言っています。そのような私を頼る妻のために、私は勝手に遊ぶことも、外食をすることも、自分の仕事を持つことも諦めました。我慢している時代はイライラしていましたが、病人や障害をもった方々と接して、自らハンデを負うことも大事なことだと気が付きました。それからは夫婦仲良く暮らせるようになりました。人間誰しも欠点ばかりですが、仲良くするために考え方を変えなければなりません。

事務長 柏崎久雄

- * 感染症の疑いのある方は廊下の入口からインフルエンザ、風邪、おたふくかぜ、はしか等が疑われる方は、正面入り口横の中央通路わきにあるインターホンでご連絡ください。トイレなどをご使用の際は、必ずよく手を洗ってください。鼻をかんだティッシュも備えつけの袋に入れてゴミ箱に入れてください。院内感染を避けるためご協力ください。第2待合室も病態別に隔離して診察します。
- * 成人用肺炎球菌予防接種の市からの助成金がH26年3月末日まで延長となり、対象は千葉市在住の75歳以上の方でご予約制です。
- * 栄養指導のご要望が多く、早めに枠がなくなるようになっていきます。ご希望は早めにお願います。また、キャンセルはお早めにご連絡ください。予約のない方で細かな指導と診察を要求する人がいますが、待っている方もいるので、ご配慮ください。
- * 「聖書を読む会」 4月16日(火) 2時〜2時20分
「低血糖症親の会」 4月16日(火) 11時〜14時
食事付き2000円、事前申し込み
- * 5月20日(月)に機能性低血糖症の国会勉強会で院長と理事長が発表をするため、午後は休診となります。ご注意ください。
- * 病児保育ノア。利用料金は一日2000円です。千葉市の事業なので、市内在住の方に限ります。情報や方法はホームページか、受付で配布する資料をご覧ください。予約と空き枠をお知らせするブログもできました。 <http://b.hoiku-noa.com/>
- * ㈱ヨーゼフでは、4月12日(金)までネオ・バイオファイバースとペプタブ75のキャンペーン販売を行います。詳細は店頭でご確認ください。これらの購入は医師処方とはなりませんので、ご注意ください。NBNの商品も為替変動により料金が変わりましたので、ご注意ください。
- * 一般社団法人低血糖症治療の会の第19回研修会は、5月23日(木)10時半より16時まで、ホテルグリーンタワー幕張で行います。会費6000円(食事込み)会員外は8000円です。会費はヨーゼフポイントもご利用できます。精神科医の講演もあります。治療の会の年会費2000円も納入してください。詳細は事務局にお問い合わせください。 info@teiketou.com

<機能的低血糖症の新基準の提言一序>

機能的低血糖症の治療をマリヤ・クリニックは日本で最初に始めましたが、当時の理解は食原性のもので精製した食品やジャンクフードが原因とするもので、犯罪行動などと結びつくなど過激な言動が指摘されるものでした。しかし、現在のマリヤ・クリニックの治療は、食事原因説から大きく展開しています。他の医療機関などで、「低血糖症は食事で治る。」として、適切な検査や個人指導や処方をしていないで大量の栄養食品を販売していることに懸念を覚えています。精神症状や発達障害などの治療は、それほど簡単かつ一律的なものではありません。私たちは、自己管理医学を提唱しています。厄介かもしれませんが、患者さんやご家族が自らの治療方法について納得した上で治療を進めることをお勧めします。出版によって提言するつもりでしたが、出版が遅れておりますので、ニュースおよびホームページでご説明させていただきます。ご質問など、遠慮なくお寄せください。

一般社団法人低血糖症治療の会 理事長 柏崎久雄

A. 機能的低血糖症の治療の歴史 (引用は連絡してください)

1. 1924 シーレ・ハリス『低インスリンと高インスリン症』

機能的低血糖症について初めて指摘した。高インスリン症と呼び、血液中にインスリンが多すぎるのが原因であると考え、活動過剰の膵臓がインスリンを出し過ぎたので低血糖を引き起こしたとした。そこで、ハリスは高タンパク質と低炭水化物の低血糖症食を考案した。これは、マリヤ・クリニック以外の後発の医療機関が勧めているのと同じ考え方である。

2. 1930年代 行動への低血糖症の影響についての研究文献が多くなった。精神疾患が起こりうる、激怒、人格変化、標準的な精神医学的徴候 など。

3. 1934 ライニアソンとモアーシュが精神及び情緒的障害における低血糖の状態について示した。

4. 1935 グリーンウッドが低血糖症が精神疾患の原因になると指摘。

5. 1940 ワイルダーが犯罪行動と低血糖症の論文発表

6. 1951 エイブラソン他『体、心、糖』

7. 1953 ガイランド 米国医学会誌に低血糖症治療の論文を寄稿

8. 1957 ホッファーとオズモンドが統合失調症の原因としてアドレノクロム説を提言

9. 1964 リチャード・マッカーネス ロンドンの社会精神医学国際会議 食事によって問題行動を起こす悪童マイケルを報告

10. 1968 ライナス・ポーリングが『分子整合精神医学』という論文を発表 精神疾患や低血糖症にはナイアシンやビタミンCの大量投与が必要であると提言

11. 1975 トビアスとネジログがペルーのクオラ族の攻撃性と低血糖症との因果関係を発表。

12. 1975 ハーベイとサルツァー 低血糖症の診断基準の提示

① どの血糖であれ、絶食時よりも 20mg/dl 以上、下降した場合。

② どの時点でも 1 時間に 50mg/dl 以上、下降し、症状を伴った場合。

13. 1975 ニューボールドが機能的低血糖症の診断基準を提示(後で説明します。)

14. 1975 ウィリアム・ダフティ『砂糖病』 田村訳 1977

砂糖の摂取によっておこる精神的・肉体的障害を報告。

15. 1975 アトキンス「私の内科で最も治療が求められる病気は低血糖症である。」

16. 1975 カールトン「低血糖症は血糖値・点・範囲によって決まるものではなく、その落ち込みの速さによって、ある人々だけがその症状を起こすのである。」

17. 1975-77 米国上院マクガバン委員会が調査活動

18. 1977 同委員会「栄養と精神的健康」公聴会 マイケル・レッサー、リード等証言

「低血糖症という新しい現代病も頭を狂わす有力原因である」ことを指摘。

マイケル・レッサーが統合失調症患者の 67% に低血糖症が背後原因として絡んでいると証言。異常行動をする子供や学習障害児は、アルミニウムや鉛が蓄積していることを報告。

① 動物食品・脂肪・砂糖の過剰と繊維の不足

② ビタミン・ミネラルの不足やアンバランスの2点を指摘。

バーバラ・リードは200名以上の犯罪者に抗低血糖食を食べさせたら再犯率がゼロとなったことを報告。

19. 1977 パーボ・エイローラ『低血糖症』(後で説明します。)
20. 1978 ホッファー、ウォーカー『栄養革命(分子整合医学概論)』
21. 1981 今村光一 同委員会レポートと訳『なぜ医師は低血糖症に気づかないのか』
日本で最初に機能性低血糖症を紹介
22. 1982 高尾利数 『砂糖は体も心も狂わせる』
23. 1982 柿谷正期 雑誌「ポポ」に低血糖症の記事連載
24. 1984 高尾利数 『20世紀の疫病—低血糖症』
25. 1986 大沢博 『食原性症候群』
26. 1988 柏崎良子 マリヤ・クリニックで低血糖症の検査治療開始
27. 1988 ラッキーロ “Hypoglycemia -An everyday guide to low blood sugar”
フロリダにある低血糖症支援協会が発行したもので、参考文献など載っています。
28. 1989 大沢博 朝日新聞論壇「登校拒否は低血糖症を疑え」
29. 1990 シャウス 『栄養と犯罪行動』大沢博訳
30. 1991 マイケル・レッサー 『栄養とビタミン療法』大沢博訳
31. 1998 大沢博 『食原性低血糖症』
32. 1998 柏崎良子 『栄養療法の手引』低血糖症の症例報告を日本で最初に紹介
33. 1998 大沢博 『子供も大人もなぜキレル』
34. 1999 大沢博 『その食事では悪くなる』
35. 1999 エイブラハム・ホッファー 『ホッファー・オズモンド診断テスト』柿谷訳
36. 1999 ファイファー、ホルフォード 『精神疾患と栄養』大沢訳
37. 2001 柏崎良子 『栄養医学の手引』低血糖症の検査と診断方法を紹介
38. 2001 エイブラハム・ホッファー 『ビタミンB3の効果—精神分裂病と栄養』大沢訳
39. 2003 大沢博 『食事で治す心の病』
40. 2004 大沢博 『食事で治す心の病II』
41. 2004 柏崎良子 『低血糖症治療の手引—心と身体を狂わす血糖調整異常』
42. 2004 柏崎良子 他 『食べて治すうつ症状』
43. 2005 エイブラハム・ホッファー 『統合失調症を治す』大沢博訳
44. 2007 柏崎良子 『低血糖症と精神疾患治療の手引』
45. 2007 大沢博 『食事崩壊と心の病』
46. 2008 柏崎良子 『栄養医学ガイドブック』
47. 2009 大沢博 『心の病と低血糖症』
48. 2011 柏崎久雄 『低血糖症治療体験集』

B. 機能性低血糖症の治療法の展開

エイローラ (Airola O. Paavo 医学博士、栄養医学、スタンフォード大学医学部教授、生物医学国際アカデミー会長、国際自然医学会会員) は1977年の著作で、食事・ビタミンと補助食品・ハーブ・その他、などの栄養的・生物学的治療法は、低血糖症の根本的原因を治療するのではないことを認めながら、これまでの高タンパク質食の害も指摘しています。ただし、アメリカ人のタンパク質平均摂取量は当時で110g

と非常に多く、彼らが言う高タンパク質食とは、一日150g以上のことであって、肉の過剰摂取は、心臓疾患・ガン・結腸がん・腎臓障害・骨そしょう症・アテローム性動脈硬化症・歯槽膿漏・関節炎・老化をもたらす可能性がある」と指摘しています。

現在でも低血糖症の対策として、糖質制限食を強調し、タンパク質だけをサプリメントなどで摂取することを指導する人が多くありますが、マリヤ・クリニックはそのような偏った食習慣を保持することを勧めておりません。2013年3月18日に日本糖尿病学会が、安全性などの科学的根拠が不足しているとして、極端な糖質制限は勧められない、として栄養の摂取比率は炭水化物50～60%が妥当であると提言をまとめました。

私どもが提唱している分子整合栄養医学は、身体の不具合や病気の原因を突き止めたうえでその機能・器官を構成する栄養素を補給し、また免疫力を高め、必要な場合には薬剤を含めた治療方法を取りながら、徐々に改善していく方法を採用し、基本的に対症療法ではなく、またそれが故に即効性を期待するのは難しく、患者と家族の自己管理と治療法の理解を必要とするのです。したがって、分子整合栄養医学を提唱する医師が、対症療法的な糖質制限食の継続的摂取を強調することは、自己矛盾となります。

エイローラは、カルシウムの供給源として牛乳は優れた補助食品であるが、スーパーで売られている殺菌した牛乳は勧めず、特に発酵乳の摂取を勧めています。そして、低血糖症者に牛乳アレルギー・乳糖不耐性の人が多いことに気が付いています。そして、他の要因として以下のことを指摘しています。

- ① 脳下垂体と甲状腺ホルモンの分泌のアンバランス
- ② アルコール・タバコ・カフェイン含清涼飲料の過剰摂取
- ③ 精製炭水化物や動物性タンパク質の過剰摂取
- ④ アレルギー
- ⑤ 重い慢性的精神的ストレス
- ⑥ 器質的低血糖症も指摘している。(1%)

・精製糖が用いられている全ての食品を摂らない。精製粉・清涼飲料水・カフェイン飲料・アルコール・タバコもだめ。→マリヤ・クリニックでは、外食その他の対応方法をアドバイスしています。

・大量の甘い果実、野菜ジュース、加工食品も避ける。肉の過剰摂取に気を付ける。→日本の加工食品は上質なものがあり、野菜ジュースなどは飲みすぎなければ許可しています。

・食事は空腹の時に食べ、少量頻回食にする。食べすぎるから血糖値を上げ、消化器官を痛める。

・落ち着いた環境でゆっくり、よく噛んで食べる。

・同じ食事で生の野菜と生の果物を混ぜない。消化酵素の組み合わせが異なる。→制限していません。

・タンパク質を消化するには多量の胃酸を必要とするので、最初にタンパク質を食べる。炭水化物は胃酸を必要としないので、後で食べれば良い。→最初は野菜を勧めています。

・食べ過ぎた食物は身体の中で毒となるので、食べ過ぎない。

・水はミネラルの重要な供給源である。無機質のミネラルは腸でキレートされて有機のものとなる。自然の硬水は身体に良い。糖代謝に必要なクロムも含んでいる。→日本人に合うかどうかわかりません。

・低血糖症の患者が塩に対する渴望を持つのは、潜在的副腎障害の可能性がある。副腎は、ある程度の塩を必要とするが、機能不全になると、異常な塩の排斥をし、塩分の不足をもたらすので、塩分を控えることは勧められない。→MCでは未対応です。

・塩の過剰摂取は血中カリウムの不足をもたらす。インスリンの分泌もカリウムを消費するので、カリウム不足はインスリン分泌の多い低血糖症患者の特徴であり、むくみももたらす。糖代謝異常の改善にはカリウムが必要であり、意識喪失をもたらす患者に効果を表す。→カリウム剤の服用とインスリン分泌を抑える食事や方法を説明しています。

マリヤ・クリニックの治療法との違いは次回に説明いたします。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜 (午前8時30分～12時10分、午後2時30分～5時30分)

土曜 (午前8時30分～12時10分、午後2時～4時)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)